



「未来の東京」戦略 version up 2022 目次

01 「未来の東京」戦略を実行する …………… 3

- ✓ 「未来の東京」戦略を実行する…………… 4
 - ✓ 政策をバージョンアップする6つの切り口…………… 7
 - ✓ 東京2020大会の成果と状況変化を踏まえ、…………… 6
 - ✓ 「サステナブル・リカバリー」の取組を推進…………… 8
- 政策をバージョンアップ

02 TOKYO2020の成果を未来へつなぐ…………… 1 1

03 6つの切り口で政策をバージョンアップ… 3 1

- ① 安全安心：都民の命と生活を守る基盤「危機管理」…………… 3 3
- ② 共生社会：バリアフリー「段差のない社会」…………… 4 9
- ③ グリーン&デジタル：自然と共生した持続可能な都市… 6 5
- ④ グローバル：世界から選ばれる金融・経済・文化都市… 7 7
- ⑤ チルドレンファースト：子供の目線からの政策展開…………… 9 5
- ⑥ 都政の構造改革：シン・トセイの加速…………… 1 1 1

04 みんなでつくる「未来の東京」…………… 1 1 7

- ✓ 「多摩・島しょ振興戦略」の更なる推進に向けて…………… 1 1 8
- ✓ オールジャパン連携の推進…………… 1 2 4
- ✓ SDGsの目線で政策を展開する…………… 1 2 6
- ✓ 区市町村との連携を更に深めていく…………… 1 2 8
- ✓ 「『未来の東京』戦略」の推進に向けた取組…………… 1 3 0
- ✓ デジタルを活用した都民意見アンケート…………… 1 3 1

※ 「『未来の東京』戦略 version up 2022」は、令和3年3月に発出した「『未来の東京』戦略」と一体として、「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）第9条第1項にいう「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付ける。

東京2020大会の成果と状況変化を踏まえ、政策をバージョンアップ

「未来の東京」戦略（令和3年3月策定）

<戦略を展開するスタンス>

- 「サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）」の実現
- 課題の根源まで踏み込んだ「構造改革」を強力に推進

<4つの基本戦略>

- ①バックキャストの視点で将来を展望する
- ②民間企業等、多様な主体と協働して政策を推し進める
- ③デジタルトランスフォーメーション（DX）でスマート東京を実現
- ④時代や状況の変化に弾力的に対応「アジャイル」

■ 目指す2040年代の東京の姿「ビジョン」

■ 2030年に向けた「戦略」 ■ 戦略実行のための「推進プロジェクト」

戦略0 感染症に打ち克つ戦略	戦略11 スタートアップ都市・東京戦略
戦略1 子供の笑顔のための戦略	戦略12 稼ぐ東京・イノベーション戦略
戦略2 子供の「伸びる・育つ」応援戦略	戦略13 水と緑溢れる東京戦略
戦略3 女性の活躍推進戦略	戦略14 ゼロエミッション東京戦略
戦略4 長寿（Chōju）社会実現戦略	戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略
戦略5 誰もが働く働き方実現戦略	戦略16 スポーツフィールド東京戦略
戦略6 ダイバーシティ・共生社会戦略	戦略17 多摩・島しょ振興戦略
戦略7 「住まい」と「地域」を大切に作る戦略	戦略18 オールジャパン連携戦略
戦略8 安全・安心なまちづくり戦略	戦略19 オリンピック・パラリンピックレガシー戦略
戦略9 都市の機能をさらに高める戦略	戦略20 都政の構造改革戦略
戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略	

「3か年のアクションプラン」（2021年度～2023年度）

「成長」と「成熟」が両立した未来の東京

セーフ シティ ダイバーシティ スマート シティ

6

政策をバージョンアップする6つの切り口

①安全安心 都民の命と生活を守る基盤「危機管理」

- 新たな調節池整備に着手
- 島しょ地域など無電柱化を加速
- DX等を活用し、自然災害への備えを強化
- 東京iCDCの機能を一層強化し感染症に強い都市へ
- 東京の危機克服・都市強靱化10か年プロジェクト

③グリーン&デジタル 自然と共生した持続可能な都市

- 「2030年カーボンハーフ」に向け、建築物のゼロエミッション、自動車の脱炭素化等を強力に推進
- 「スマート東京」先行実施エリアの取組強化・横展開
- 緑を「守る」「増やす」取組を多面的に展開
- 外濠浄化の推進により「水の都」を実現
- ウォーカブルな「人中心」のまちづくりを推進

⑤チルドレンファースト 子供の目線からの政策展開

- 子供政策を総合的に推進する体制を構築
- 子供の参加・対話を通じて政策の質を向上
- 誰一人取り残さない視点から子供へのサポートを強化
- 官民一体となった「こどもスマイルムーブメント」を戦略的に展開
- DXや社会の力を一層活用し、新たな「東京型教育モデル」を強化

②共生社会 バリアフリー「段差のない社会」

- あらゆる施策の多様性と包摂性を高め共生社会を実現
- 都内全域で「段差のない社会」を創出
- 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）解消など、女性の活躍を加速
- デジタル等を活用した高齢者のQOL向上を一層推進
- 成長分野への就業支援、長期失業者への集中的なフォローアップ
- 若者・ひとり親家庭など、困難を抱える方へのサポート

④グローバル 世界から選ばれる金融・経済・文化都市

- 世界最先端を実現する東京ベイeSGプロジェクトを推進
- 国際金融都市に向けた歩みを進める
- 多様で柔軟な働き方の実現
- 東京が誇る「観光」を再興し、「食」の魅力を高める多様な振興策を展開
- 文化・エンターテインメントがあふれる「楽しさ」を生み続ける都市へと進化

⑥都政の構造改革 シン・トセイの加速

- 5つのスタンスで改革を更に実践
 - > ユーザーとの対話を徹底する
 - > QOSを徹底して数値化し、デジタルで標上げる
 - > 働く環境を変えることで、人を、仕事を、組織を変える
 - > 制度や仕組みなどの構造的な課題に切り込む
 - > 変革をスピードアップし、サービスをいち早く実現する
- コア・プロジェクトを加速しデジタルガバメント・都庁の基盤を構築
- 各局リーディング・プロジェクトを拡充し、都政のQOSを飛躍的に向上

7

② 共生社会

デジタル等を活用した高齢者のQOL向上を一層推進し、Chōju社会を実現する

- 人生100年時代において、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、幅広いデジタル活用やデジタルデバイド対策等により、高齢者のQOL向上につなげる取組を一層推進するとともに、高齢者の希望に応じた社会参画の支援や、地域包括ケアの実現に向けた取組を推進

デジタル等を活用し、高齢者のQOL向上を一層推進

スマートウォッチを活用した高齢者の健康づくり

健康長寿医療センター等と連携し、高齢者に血圧や脈拍等を自動計測できるスマートウォッチ等を配付し、収集したデータ等を活用することで、健康状態や病気の予兆を把握できるアプリの開発等につなげ、高齢者の健康を増進

健康長寿医療センター等
東所取得データ
心拍機能、認知機能、栄養状態、医学的検査、行動履歴等

自宅
自宅等での自動計測データ
血圧、脈拍、身体活動、睡眠時間、食事履歴等

比較分析
医師の診断

アプリ開発等
高齢者の健康増進

介護・フレイル予防を推進

介護予防・フレイル予防の普及啓発のため「東京都介護予防・フレイル予防ポータル」を効果的に運用

「東京都介護予防・フレイル予防ポータル」

介護予防・フレイル予防

オンラインツールを活用して介護予防・フレイル予防活動に取り組む高齢者を支援

AI等を駆使した認知症予防の研究を推進

認知症研究の基盤確立に向け、「TOKYO健康長寿データベース」を健康長寿医療センター等で運用

認知症医療・ケアの質の向上のため、AI認知症鑑別システムの構築等を推進

認知症の早期発見・早期支援につながるAIチャットボットの開発のため、機械学習等を実施

認知症リスクチャートの完成に向け、健康長寿医療センターが保有するビッグデータを用い、リスク要因を分析

デジタルデバイドの是正に向けた地域の取組を支援

地域のスマートフォン教室等の取組を支援する人材について、新たな認証制度「TOKYOスマサポーター（仮称）」を創設

高齢者向けのスマートフォン教室やアウトリーチ型の相談支援を拡充

高齢者の希望に応じた社会参画を一層促進

高齢者の社会参加を一層促進するため、効果的なきっかけづくり・マッチング等に向けた施策を立案するとともに、区市町村による相談窓口設置を支援

「東京セカンドキャリア塾」において、シニア予備群を対象としたセカンドキャリアを考える講座の規模を拡充

「東京都立大学プレミアム・カレッジ」において、「首都・東京をフィールドに学ぶ」をテーマとした幅広い独自の科目から、自ら選択して最大4年間学べるプログラムを提供

区市町村等に対するセミナーや支援プログラムを通じて、地域づくりの新たな担い手の創出や地域活動とのマッチング支援等を実施し、高齢者等の地域活動への参加を促進

介護人材の確保・定着支援を強化

介護分野への未経験者の入職・定着を促進するため、民間のノウハウを活用し、インターンシップからマッチング、就業、定着までを一貫して支援

介護業界への就労を希望する方（主婦、元気高齢者、離職者等）に対して、資格取得支援や介護施設等での就業を促進

民間のノウハウを活用した介護の仕事確保促進

一貫してサポート

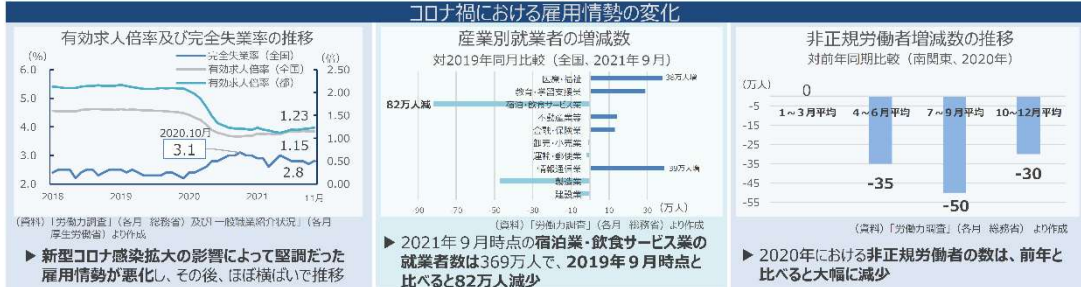
未経験者の採用に際してはインターンシップや定着のためのノウハウを基に、より的確な事業支援を実施

具体的取組（主要）	2021年度末 （見込み）	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
スマートウォッチ等を活用した健康づくり	—	スマートウォッチの配付、データ収集・分析	詳細分析、プロトタイプ開発	運用
区市町村の先駆的・分野横断的取組を56包括的に支援	8自治体	事業実施区市町村の増加	事業実施区市町村の増加	事業実施区市町村の増加

②共生社会

コロナ禍での課題を踏まえ、人々が意欲や希望に応じて働くことができる社会を実現する

- 雇用情勢の変化や社会ニーズを捉え、人材需要の増加が見込まれている成長分野等の職業訓練メニューを充実するとともに、資格取得やスキルの習得から企業とのマッチングまでを一体的に後押しし、求職者の安定した雇用確保を実現



新型コロナウイルス感染拡大の影響により解雇・雇止めとなった非正規労働者等の再就職や、社会の変化に対応した更なる雇用創出が課題



意欲ある誰もが働き続けることのできる社会を構築するため、成長産業分野等への就職支援や長期失業者等への集中的なフォローアップ体制を強化

戦略5
働き方 ver.up

成長産業分野等への就労支援

成長産業分野等におけるキャリア形成を後押し
eラーニングや通信講座により、成長産業分野等における資格やスキルの取得と、職業紹介等の就職支援を一体的に実施

支援期間 4か月～6か月
支援規模 1,000名以上

デジタルコース
eラーニングや通信講座
メンターによる受援フォロー

就業支援
受援中におけるキャリアカウンセリング
職業紹介

職業訓練を選び、デジタル人材としての就職を後押し
若者等を対象に、デジタル関連のスキルを付与する職業訓練と求人開拓等との再就職支援を一体的に実施することで、デジタル人材としての就職を目指す

支援期間 最大4か月
支援規模 1,000名以上

キャリアカウンセリング
プログラミング等デジタルスキルを付与する職業訓練
職業紹介
マッチング

デジタル産業に特化したマッチングイベントを開催
2日間で60社が参加する大規模就職面接会を開催
未経験者でもエントリー可能な求人豊富
専門・中核人材を必要とする企業もデジタル人材と出会う

多摩地域における就労支援

就職チャレンジ多摩
多摩地域において、セミナーとグループワークを経て、企業内実習やマッチング支援を行うプログラムを提供

支援規模 250名 (2023年)

ヤングコース 150名 (2023年)
ミドルコース 100名 (2023年)

就職率幅度のレベル別にコースを設定
採用後もジョブリーダーによる職場訪問・面談を実施し、定着をサポート
採用から6か月後に企業へ奨励金を支給

失業者等へのフォローアップ体制を強化

就職支援から能力開発まで一体的にサポートする支援体制を整備
しごとセンターと職業能力開発センターの連携を強化し、企業とのマッチング支援と職業訓練を一体的にサポートする就業支援の体制を構築

フォローアップ支援チーム

フォローアップ事務局
しごと財団に「フォローアップ事務局」を設置し、未就職者・長期失業者等にフォローアップメニューを紹介
専用アプリ「TOKYO JOB Info (仮称)」を通じて、マッチング支援や職業訓練の情報を一元的に発信

東京しごとセンター
訓練生にトライアル派遣就労などの支援メニューを紹介
訓練業務等での就職面接会を実施
専門スタッフによるキャリアカウンセリングやオーダーメイド求人開拓等、就労困難者に特化した支援を実施

職業能力開発センター
成長産業や人手不足分野等の訓練メニューを重点的に提供
I・T・デジタル
介護
再就職・再就職後のものづくり

情報共有を進めて各機関のネットワークを強化

3年間のアクションプラン (主要)

具体的な取組 (主要)	2021年度末 (見込み)	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
成長産業分野におけるキャリア形成支援	支援規模 300名	支援規模 1,000名	支援規模 1,000名	支援規模 1,000名
デジタル人材育成支援事業	400名	支援規模 1,000名	支援規模 1,000名	支援規模 1,000名
多摩地域における就労支援	—	ヤングコース 100名 ミドルコース 150名	ヤングコース 150名 ミドルコース 250名	ヤングコース 150名 ミドルコース 250名